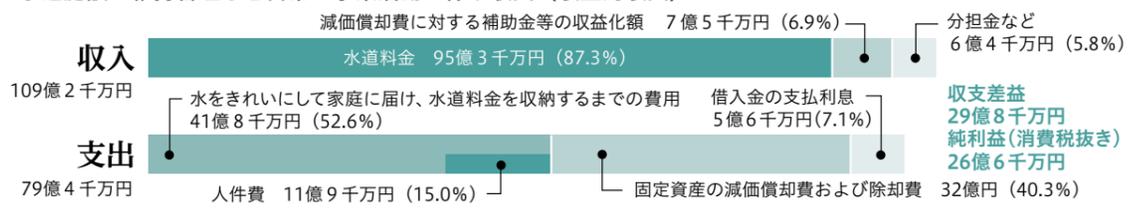


一般会計決算

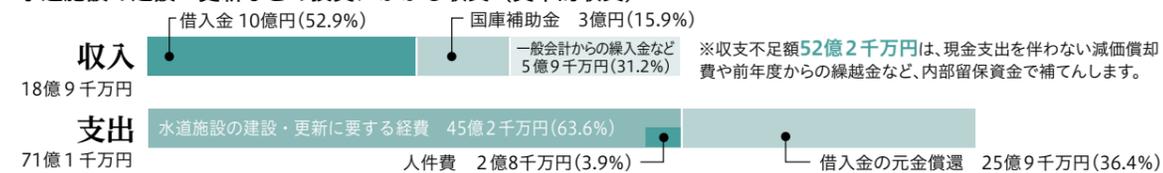
30年度第3回市議会定例会で、29年度大分市歳入歳出決算および水道事業会計決算が認定されましたので、その概要についてお知らせします。(数字は概数)

平成29年度 水道事業会計決算

水道施設の維持管理など日常の事業活動に伴う収支（収益的収支）



水道施設の建設・更新などの投資にかかる収支（資本的収支）



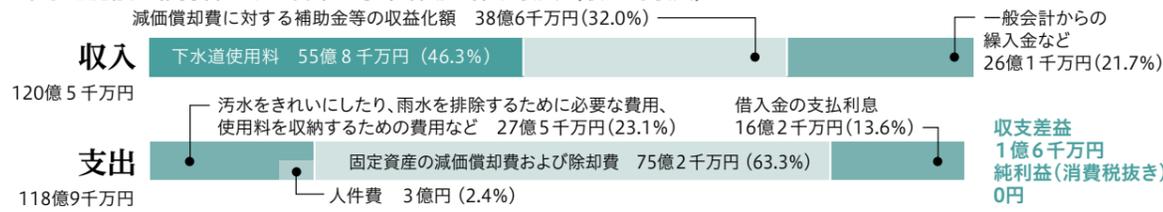
29年度の 内部留保資金 80億円 - 資本的収支不足額 52億2千万円 = 翌年度繰越資金 27億8千万円

給水状況

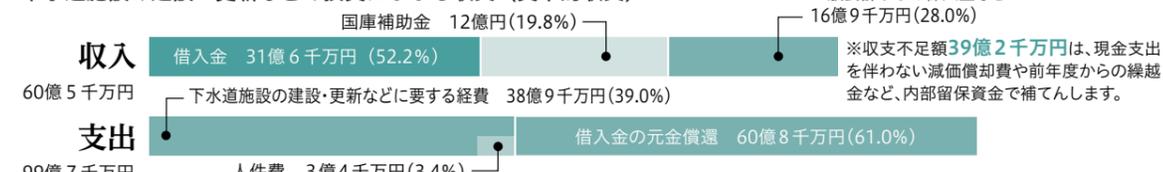
給水人口	475,916人	給水世帯	218,275世帯	普及率	99.52%
年間給水量	50,671,995m ³	1日最大給水量	149,948m ³	1人1日当たりの平均給水量	292ℓ

平成29年度 公共下水道事業会計決算

下水道施設の維持管理など日常の事業活動に伴う収支（収益的収支）



下水道施設の建設・更新などの投資にかかる収支（資本的収支）



29年度の 内部留保資金 51億2千万円 - 資本的収支不足額 39億2千万円 = 翌年度繰越資金 12億円

業務状況

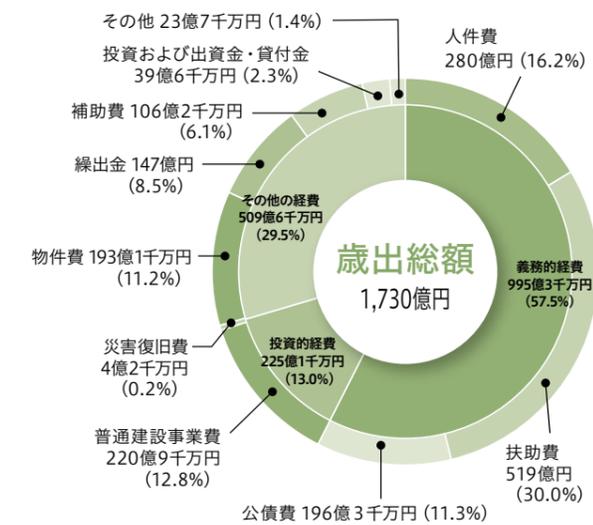
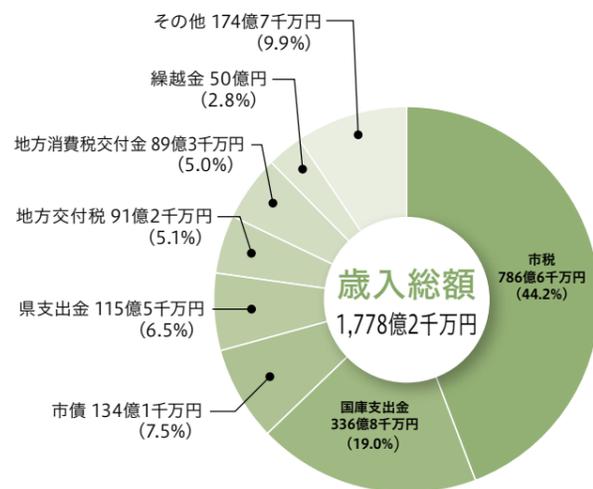
処理区域内人口	301,524人	処理区域内世帯	139,563世帯	普及率	63.1%
年間処理水量(※1)	43,505,531m ³	年間有収水量(※2)	32,981,355m ³	有収率(※3)	75.8%

(※1)年間処理水量→処理した汚水の年間の水量。
 (※2)年間有収水量→年間処理水量のうち使用料徴収の対象となった年間の水量。
 (※3)有収率→処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水の割合。有収率が高いほど使用料徴収の対象とすることができない地下水や雨水などの不明水が少なく効率的。

上下水道局経営企画課 ☎538-2404

29年度の目的別歳出金額と主な事業

- 議会費……9億円
- 総務費……165億3千万円
 - 地域づくり交付金事業
 - 豊予海峡ルート推進事業
 - 国際スポーツ誘致推進事業
 - 大分市地域まちづくりビジョン策定事業
- 民生費……742億5千万円
 - 保育所等運営事業
 - 障がい者自立支援費
 - 高齢者ワンコインバス事業
- 衛生費……136億2千万円
 - 予防接種事業
 - 子ども医療費助成事業
 - 水素エネルギー導入推進事業
- 労働費……2億2千万円
 - 高齢者と若年者などの就労推進
- 農林水産業費…21億2千万円
 - 人・農地プラン推進事業
 - おおいた産品創出・魅力発信事業
 - 大分市産材利用促進事業
- 商工費……54億6千万円
 - 企業立地推進事業
 - おおいた物産・食・観光魅力発信事業
 - 「チャレンジ創業！」大分市創業者応援事業
 - 中小製造業設備投資補助事業
- 土木費……204億5千万円
 - 大分市中心市街地祝祭広場整備事業
 - 住環境整備事業
 - 公営住宅建設事業
- 消防費……57億2千万円
 - 防災士協議会活動事業補助金
 - 同報系防災行政無線整備事業
 - 消防車両購入事業
- 教育費……136億8千万円
 - 外国語指導助手招聘事業
 - スクールソーシャルワーカー活用事業
 - 大友氏遺跡保存整備事業
- 災害復旧費…4億2千万円
- 公債費……196億3千万円



大分市の財政は、早期健全化基準・経営健全化基準をすべてクリアしています

各基準は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づくものです。

■ 決算に係る健全化判断比率 (単位：%)					■ 指標の説明	
指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	・実質赤字比率	一般会計などの赤字額の標準財政規模*に対する比率
大分市	-	-	5.7	41.5	・連結実質赤字比率	全会計の赤字額の標準財政規模に対する比率
早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	350.0	・実質公債費比率	一般会計などの地方債の償還やこれに準じる支出額の標準財政規模を基本とした額に対する比率
※ 表中「-」は、該当比率がない(赤字額がない)ことを示しています					・将来負担比率	一般会計などの地方債や将来支払っていく負担額の残高の標準財政規模を基本とした額に対する比率
■ 決算に係る資金不足比率 (単位：%)					・資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額の、料金収入などの収益に相当する事業規模に対する比率
特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準		※標準財政規模…その地方公共団体の標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模を示す指標		
水道事業会計	-	20.0				
公共下水道事業会計	-					
公設地方卸売市場事業特別会計	-					
農業集落排水事業特別会計	-					
※ 表中「-」は、該当比率がない(資金不足額がない)ことを示しています					閏 財政課 ☎537-5607	

41億3千万円の黒字決算

- ◎形式収支 48億2千万円
1,778億2千万円(歳入)－1,730億円(歳出)
- ◎実質収支 41億3千万円
48億2千万円(形式収支の黒字)－6億9千万円(翌年度へ繰り越すべき財源)
- ◎なお29年度末現在の地方債残高は1,723億7千万円です。
(前年度比46億9千万円減)
市民1人当たりの地方債残高 36万円
(前年度比1万円減)

歳入は前年度に比べて21億7千万円(1.2%)の増加

市税は、市民税が1億4千万円減少したものの、固定資産税が10億円増加したことなどにより、8億円の増収となりました。また、碩田学園の建設が終了したことなどに伴い市債が39億4千万円減少した一方、介護サービス基盤整備事業費補助金の増加などにより県支出金が11億1千万円、大分市中心市街地祝祭広場整備事業の用地購入費として基金から繰り入れたことなどに伴い繰入金金が39億5千万円増加するなど、歳入全体では21億7千万円の増加となりました。

歳出は前年度に比べて23億5千万円(1.4%)の増加

歳出を性質別に見ると、私立保育所等給付費の増加などに伴い扶助費が14億3千万円、情報システムの最適化事業の事業費の増加などに伴い物件費が12億5千万円増加した一方、碩田学園の建設が終了したことなどに伴い普通建設事業費が8億2千万円減少となり、歳出全体では、23億5千万円の増加となりました。なお、人件費、扶助費、公債費を合計した義務的経費は、995億3千万円となり、13億4千万円増加しました。

閏 財政課 ☎537-5607